

多様性認め合う共闘の発展で政治変革を 危機あおる改憲の動き いよいよ憲法九条の出番です！



衆議院選挙 野党共闘の始まりの第一歩

1 昨年から続くコロナ危機。9 年
なっています。

間にあふ安倍・菅政権とそれを継承する岸田政権によって、日本の立憲主義・民主主義・平和主義が根底から危うくされ、新型コロナウイルス対応の失敗で多くの人々の命と暮らしが損なわれていいます。

こうしたもとで、野党が政権交代を正面から訴えることは当然の責任です。この訴えは、自公政治からの転換を求める多くの国民の願いにこたえるものでした。

日本共産党は、市民と野党の共闘の力で、政権交代を実現し、新しい政権―野党連合政権をつくることをめざし、力をつくしました。

野党4党が市民連合と合意した20項目の共通政策は、例えば、消費税5%減税、ケア労働者の賃金10万円引上げ、全国一律1500円の最低賃金、核兵器禁止条約への参加、ジェンダー平等の推進、沖縄辺野古新基地建設の見直し、原発廃止、気候危機の打開など、その一つひとつが自公政治のゆがみに根本からメスを入れる重要な内容と

なっています。

共産党は、この共通政策を、「限定的な閣外からの協力」の立場で実行していく新しい政権を樹立するために全力で頑張りました。

しかし、「共通政策」や共産党の政権への参加に、自民・公明とそれを支える勢力は危機感にかられ、必死の野党共闘攻撃、共産党攻撃を行いました。選挙結果は、共産党は沖縄1区で議席を守りましたが、比例代表では11議席から9議席、440万票から416万票に後退するという残念な結果になりました。

しかし、野党が候補を一本化した59選挙区で野党候補が勝利し、自民党の閣僚経験者や有力者を落選させ、33選挙区で自民党候補を僅差まで追い上げ、野党共闘の比例得票は246万票増、議席も42増やしました。

メディアを動員し「野党共闘は失敗」などと攻撃していますが、野党共闘は始まったばかり。欧州では当たり前のように多様性を認めあう共闘こそ、日本の政治を変えていく力です。

米中覇権争い激化 危機あおり改憲論議を加速 九条守れ、憲法生かせの大運動を

選挙後、自民・公明・維新・国民
民主が改憲論議を加速しています。
狙いは九条改憲です。

自衛隊を九条に明記し、軍事費をG
DP（国内総生産）比2%へ増額し、
何の制約もなく戦争する国づくりを進
めようとしています。

岸田首相は所信表明演説で「敵基地
攻撃能力」の検討を明言しました。こ
れは、相手国の領域まで乗り込んでミ
サイル基地や地下施設も含めて大規模
な攻撃を行い、制空権を確保し、まさ

に全面戦争に発展するような危険な計
画です。

米中の覇権争いが激化し、アメリカ
に追随する日本は、軍事対軍事の最も
危険な道に向かっています。

憲法九条は「国権の発動たる戦争
と、武力の威嚇又は武力の行使」を
「永久に放棄」と明記しています。
力を合わせて

改憲を阻止しましょう！